



ムギマキ 長野県戸隠にて 撮影：当法人顧問 高木 真一



No.43 (令和3年)

社会福祉法人 鶴風会

東京小児療育病院
西多摩療育支援センター
後援会

連絡先

〒208-0011
東京都武蔵村山市学園4-10-1
電話 042-561-2521 (代表)
東京小児療育病院
Eメール tcrh@kakufuh.com

理念

私達は
障害児者の生命機能の維持
向上と生活援助のための誠実に
積極的に取り組む障害児者と
その家族を支援します

後援会の仕事を考える

― 福祉とは何かを再考する ―

社会福祉法人鶴風会後援会
会長 青木 継稔

私は、当社会福祉法人鶴風会の後援会長を拝命しております青木継稔（あおきつぐとし）です。私の専門職は小児科医であり、小児神経学、先天代謝異常（遺伝性疾患）、先天異常、内分泌・代謝異常、小児保健学、医学教育等の分野で活動して参りました。重症心身障害児や発達障害児の医療・福祉・教育等にも深く関与して来て、発達障害児は今でも診療・療育・教育におつき合っています。

多くの病気や障害を持つ患児・者とその保護者の方々から色々なことを教えられ、医師として人間として成長してきました。まだまだ未熟と感じており努力を重ねてい

1頁	後援会の仕事を考える
2頁	設立当時から振り返って
3頁	病院運営での私の思い
4頁	地域の医師会より
5頁	西多摩だより
6頁	施設の整備状況
7頁	令和3年度 鶴風会表彰 決算報告
8頁	お知らせ
	ご寄附者名簿
	ご寄贈者名簿

ます。

当社会福祉法人鶴風会の後援会の役割・仕事は何であろうか。今ではひとりの医師として、患児者とそのご家族の中心に診療等に携わって来たのですが、後援会長を拝命して色々と考えて参りました。

一つは、当法人の理念である「私達は障害児者の生命機能の維持向上と生活援助のため誠実に積極的に取り組み障害児者とその家族を支援します」ということを具体的に応援することです。

もう一つは、障害児者とその家族の医療、療育、教育、福祉等に直接的・間接的に関わっていらっしゃる医師、看護師、保健師、OT・PT・ST、臨床心理士、ソーシャルワーカー、介護福祉士等の医療従事者や事務系の職員ひとりひとりを支援・応援することの重要性を常に考えております。医療従事者の知識・技能・アート面・人間

力の向上への支援、障害児者とその家族へのモチベーションの持続への応援等があると思います。

さらに重要なことは、当法人の施設面のハード面やソフト面への具体的な経済面での支援です。重症心身障害児者施設・病院の毎年度毎の運営・経営は、関係者のご尽力・ご努力で赤字となることは少ない状況ですが、建物・設備・医療機器備品等の老朽化への対応に極めて厳しい状況にある現状に直面して驚いています。創立50年以上を越えるのですが建物を建て替える資金の積み立て等がほとんどありません。後援会が集める貴重なご寄附額を積み立てても焼け石に水程度です。どのようなことでご寄附を集めるかが、大きな課題です。何か良き智慧をご教示願えればと案じております。

今年、『渋沢栄一』が話題（NHK大河ドラマ『青天を衝け』）になっております。新一万円の肖像にも決まりました。渋沢栄一は、「日本資本主義の父」と言われておりますが、日本初の福祉に貢献したというもう一つの顔があります。渋沢は福祉のほとんど何も無い状況において一九二〇

年代以降に、福祉に色々寄与していきます。東京療育院を立ち上げ自ら施設の院長も務めたことです。高齢者、病者、ホームレス（ルンペン）等の弱者を収容し維持・発展に尽力しました。全国福祉協議会という福祉団体を一九〇八年に民間の立場で立ち上げ初代会長を務めました。渋沢は、経済的援助のみならず自らが施設の運営、弱者救済の理念のもとに長く関わったのです。勿論、渋沢の経済力の高さもあつたのですが、自ら実践した気高さは尊敬に値します。渋沢栄一ではありませんが、社会的に成功した多くの事業者は福祉活動にご支援下さった方々も多くいらつしやいました。

経済大国となって久しい我が国ですが、福祉活動にご尽力下さる方が極めて少なくなっています。我が国の税制改革や組織のあり方大きな変化に企業寄附が困難な時代になったのかも知れません。ある企業に、本法人の趣意書を持参してお邪魔したのですが、けんもほろろ〴〵状態でした。国や都道府県の対応も昔と比較すると極めて厳しい状況にあると言えます。我国全体、国民ひとりひとりがもう一度、福祉に

ついて積極的に再考する良い機会ではないかと思えます。

当後援会は、個々の皆様方のご芳志を頼りにしております。どうぞ、ご支援下さい。



設立当時は 振り返って

評議員 小川 昭子

昭和三十五年の春、東邦大学（旧帝国女子医専）の同窓会の理事会では社団法人東邦大学医学部鶴風会を法人としての形を整えたので、卒業生として

社会的な仕事を考えて居りました。医師でなくては、女性でなくては、母親でなくては、出来ない仕事にとりくみたいと思ひ、厚生省の母子衛生課に御意見を伺いに参りましたところ、小児専門の病院でしかも肢体不自由児の施設がほしいが、いずれも予算がないのでどうにもならないと申されました。

当時国家としても何の施策もされていませんでした。そこで理事の中でも社会事業に理解を持ち、精神的にも経済

的にも苦痛に耐えられる者が、自費を集めて財団法人をつくり、寄附金を集める事になりました。

この間、大蔵省、厚生省、東京都の御親切な御指導をいただき財団法人を設立し、大蔵省の指定寄附の許可を頂き、一般からの寄附を頂くために、後援会を作る事が出来ました。後援会には、一万田尚登氏、石坂泰三氏、稲山嘉寛氏、小嶋新一氏、その他数名がお引受け下さり御声援下さいました。費用調達のため榊原久子氏（サンケイ新聞婦人部）や社会福祉法人にするため黒木利克氏（厚生省児童家庭局長）の御好意、御協力も忘れられません。

福祉事業のための国有地払い下げには、三十六年関東財務局に書類提出してから隔日に午前九時から一年請願に通いやつと許可が下りました。

三十八年にやっと五千坪を払い下げして下さいました。建築に当っては支払い案件で断られました。山高しげり先生や池田首相御夫妻のお力添えで、増岡登作氏（増岡組社長）は、心良くお引受け下さいました。そのお蔭で、昭和三十九年四月十日開院式を迎える事が出来ました。そして、今日に至つ

て居ります。開院以来多くの先輩、後輩の医局の先生方や事務局の方が心を一つにして、苦難をのり越えて下さり感謝で一ぱいです。月日の流れは速く、私は92才になりましたが、まだ外来診療は続けて居ります。時々、自分の90年余をふり返る事があります。母校の大切な村山の病院に対して一体何のお役にたつたのだろうかと思ったりします。わずかなゆとりのある時に、心ばかりの寄附をさせて頂いたり、パーザーに出品させて頂く位だったな、と思います。余命が短い事は確かですが、今後も老体に鞭打って仕事をつづけ、心ばかりの寄附をさせて頂こうと思つて居ります。恐ろしい世の中になりましたが、皆様くれぐれも御自愛の上、御活躍下さいませ。そして、末長く当病院への御支援をお願い申し上げます。



病院運営での私の思い

社会福祉法人鶴風会

評議員 千 哲三

この度、広報誌編集委員会より寄稿の御依頼を頂き、テーマとして「病院運営での先生のアイデア」などごの例を頂きました。それに沿って、書かせて頂きます。

私は、昭和44年卒業で、当時は学生運動の真最中で、インターン制度返対大学院反対、国試反対などで荒れていました。私は大学を出て、同年7月より聖路加国際病院外科に入局しました。6年間研修の後、英国オックスフォード大学病院外科に入局し、同時にDentree College大学院修士課程の院生となり、基礎研究も行いました。3年間程度で修士論文を終え、聖路加国際病院へ戻りました。

父の勧めもあって、2年後の昭和55年1月に個人診療所「進興クリニック」を開業しました。当初は、ナース1名、臨床検査技師1名、事務員1名と事務助手として妻を加え、合計5名

でスタートしました。徐々に成長しながら平成3年8月には、厚生労働省認可の「医療法人社団進興会」となり、理事長として全体を統括することになりました。医療施設も徐々に増え、開業以来36年間程で、11ヶ所の施設、巡回健診車12車輛、従業員も医師を含めて600人程で活動する様になりました。

この約36年間の法人運営のアイデアを一言で言おうとすれば、「職員に頼って進めて行く」だったと思います。法人のトップや幹部職員のリーダーシップだけでなく、事務職員や専門職員の現場での「毎日の気づき」に「頼って進める」のが、運営の重要なポイントの一つだと考えています。

全職員が、自分達のアイデアで法人が成長していることを見ることで、働きがいや達成感が生れて、ますます楽しい職場となると思います。マンネリ化も生れてこないはずで、

職員からアイデアを引き出すには、会議又は、ミーティングということがあります。一般的に会議等は、少ない方が良いとか、無駄が多いと言われる場合がありますが、要は、目標とやり

方が重要なポイントとなるかな〜と思います。

逆接的かも知れませんが、会議又はミーティングは、なるべく多く、目標の絞って、時間は短くが基本です。即ち、法人の全職員が、何らかの会議又はミーティングに参加して、自分の考えや同席職員のアイデアを聞き、そこから問題点を探し出して完成させる。即ち、「職員達のアイデアに頼る」こととなります。

一例として、私の「医療法人社団進興会」は、前述の規模で、年間約40万人の健康診断・人間ドック等を行っています。この健康診断等のスタートは、「進興クリニック」開業の2年目頃、1人の臨床検査技師のアイデアで、「通常の外来診療だけでなく、健康診断もやってみませんか」との発言でした。

極端な言い方が並びましたが、法人の現状維持か、発展のいずれかでも、楽しく進めて行くとしたら、「全員参加のアイデアに頼って行く」ことかなと思つています。

文末になりますが、この度は寄稿の機会を頂き、厚く御礼を申し上げます。

地域の医師会より

横浜市中区医師会

向山 秀樹
(昭和46年・卒)

青木継稔会長、松尾賢二理事長、中里厚先生のような秀逸な先生方、教職員、並びにご寄附などで厚志を示されておられる多くの方々が、東京小児療育病院を懸命に支えておられて、いつも、心嬉しく念じております。

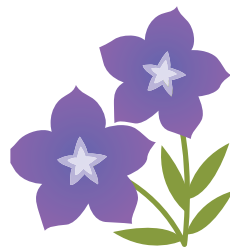
この一年半の間、実地医家の先生方は、コロナ禍に苦しんでこられたと思われま

す。2020年1月に、ダイヤモンドプリンセス号に端を発したコロナ感染症でしたが、この船は、横浜市中区の横浜港に停泊し、私たちの地元医師会が、小児科、内科を問わず総力を挙げて、今思い出すと不完全な予防衣にて船内に入り、外国語を駆使しながら感染者の救出を挙行しました。当時、情報が多分でなかったため、事務員を含めて参加者から、数名の感染者が認められました。それに、時が経って、現在はコロナウイルスの予防接種に苦

められております。多方面から来る、予防接種の情報は、幾重にも内容が変更され、国の基準が変動されても、必死に予防接種の事業に多くの先生方が参加されている事と思惟しております。毎日、多くのコロナ感染症の情報が滝のように流されますが、その、殆どは日本語によるものです。ここ、横浜市中区は、住民の13%以上が外国籍の人々で、日常の診療にも、毎日、多言語を駆使して診療を行っておりますが、必要な情報は、充分にこの人々には、伝わりません。私たちは、日本で初めての、22ヶ国語による外国人小児科患者問診表^①を作成し、多用しておりますが、個々にコロナ禍の要点を殆ど毎日、日本語を離れて外国籍の人々に連絡をしております。

2018年12月に成立した成育基本法の附則にある、行政組織の在り方等について検討され、6月18日に閣議決定された「骨太の方針^②」に、「ごども療育^③」創設に向けた動きが加速しています。これは、児童虐待対策、子どもの貧困、障害を抱えた子どもなど、子どもに関する様々な課題に総合的に対応する為に、年齢による切れ目や省庁間

の縦割りを排し、各ライフステージに応じて切れ目のない対応を図るとともに、困難を抱える子どもへの支援等が抜け落ちることのないような体制を構築することとされておりあります。私共の地域医師会のレベルに於いて、常に国の動きと県や市などの地方公共団体の施策や実践に目配りをし、その実践や利点を、子ども達の「花束」に変える努力を、外国語の学習とともに怠っていない積りです。それらが、やがて、東京小児療育病院の発展に連動することを、祈念しております。



西多摩だより

西多摩療育支援センター

センター長 鶴岡 広

法人の令和2年度の決算報告ができました。報告によると、西多摩療育支援センターは何とか赤字とならずにすみ

ました。前年度に比較すれば、大幅な減収となりましたが、支出の削減により何と赤字ではなく収益を出すことができました。

西多摩療育支援センターは、医療部門の診療所、福祉部門は、障害者生活支援（入所・短期・通所）・児童発達支援と障害児者に対して複合的なサービス事業を行っています。

収入は、新型コロナにより、特に障害児者が健康をサポートする診療部門、家族との在宅生活継続を支援する短期入所に大きな影響を受けました。診療部門において、年度初頭の第一回目緊急事態宣言によって、診療所の外来患者数が大幅な減少してしまいました。種々の補助金を頂き感染予防対策を行い、後半には外来患者数は令和元年度に近い外来患者数に回復しましたが、目標に達することができませんでした。また、短期入所は、地域感染流行により一時的にサービス提供停止及び、利用地域（感染が流行している都区市内など）の制限をしなければなりません

した。支出としては、令和元年度に行った支出削減対策が功を奏しました。ポ

イラー・空調および照明のLED化の省エネ対策により水道光熱費、通園運転業務内容の見直しによる業務委託費用が、大幅に削減できました。更に、予算では上げていたのですが、年度当初の収入状況より、備品などの新規購入を極力抑え更新を主体することにより減価償却費の削減、コロナ流行により多数の研究研修会が中止となったため、結果として研修費が少なくて済みました。

新型コロナウイルスの影響は、今年度も継続するでしょう。冬になればインフルエンザもはやります。感染症が流行しても安心して障害児者とその家族の皆様が、継続的に安心して利用して頂けるように西多摩療育支援センターを構築していかなければなりません。今後よろしくご指導・ご鞭撻お願ひします。



施設の整備状況

東京小児療育病院
総務部庶務課施設管理係
係長 石田 隆裕

東京小児療育病院は、施設の老朽化が進んでいます。

今年度、行っている工事について、紹介させていただきます。

【高圧電気設備・エレベーターの更新】

今年度、国の施設整備補助金の交付を受けて、「高圧電気設備の更新工事・病棟エレベーター2基の更新工事」を行っております。

総事業費は1億6千万円（補助金1億2千万円）になります。

現在の高圧電気設備は、東京電力から、6万6千ボルトの電圧線を地中に埋設し、リハビリ棟地下キュービクル（高圧電気施設）で低圧に変換し、施設内に電気を供給しています。埋設している電線は30年以上経過していることから、更新の時期が来ております。主な工事内容は、埋設電線を廃止して、キュービクルをリハビリ棟地下か

ら病院南西の角へ変更します。今後の建て替え時でも使用できるように考えています。また、音が大きく容量が小さい発電機を低騒音の大型に入替します。病棟エレベーター（2基）は、設置後25年以上経過しており、部品の供給が停止される通知を受けて、リニューアルします。

リニューアル工事の内容は、エレベーターの心臓部の油圧システムの交換、内装の新装、停電時に近くの階でストップドアが開くとじ込み防止機能が付きます。

【宿舎の解体】

開院当時に建築された職員宿舎は、改修や修繕を繰り返して、昨年度末まで使用してきました。

阪神淡路大震災や東日本大震災など、最近では日本列島に地震が頻発しております。職員宿舎は、築50年以上経過し、耐震性に不安があることから、この度、看護師宿舎として近隣にワンルームマンションを1棟借上げし整備しました。また、職員のお子さんを預かる院内保育室も宿舎からリハビリ棟に移設・整備し、今年度解体することになりました。

た。

解体作業は、近隣の住民にご迷惑にならないよう、小型重機で解体し、細かく分別し作業を行っています。

解体後の跡地は、職員駐車場として整備します。

【LED蛍光管】

施設管理係では、一昨年から施設内の蛍光灯のLED化を進めています。

理事長から『できるところは自分たちでやろう!!』の発案で、施設管理2名で2年間かけて1200本ほどLEDに交換しました。現在、全体で40パーセントが終了しています。施設内が明るくなり、電気料金も年間を通して150万円程度の削減効果が出ています。今後、建て替えまで施設が運用できるように、修理・保全など頑張っていきたいと思っております。



令和二年度 鶴風会表彰

当法人事業に貢献してくださる方々の功績を称え、令和三年度鶴風会表彰を行いました。受賞者の方々には、これまでのご尽力に心より感謝いたしますとともに、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

永年勤続表彰（敬称略）

勤続三十五年	理学療法士 伊藤 泰広	管理栄養士 野村 央子
生活支援員 柳瀬 達夫	作業療法士 古保 知裕	
勤続三十年	事務 乙幡 和明	言語聴覚士 岸本 直子
事務 佐藤 朋己	看護師 青木 靖子	
看護師 長田 幸枝	生活支援員 小林 泰子	
看護師 野澤ひろみ	ソーシャルワーカー 岩井 紀子	
生活支援員 矢花 悟	勤続十年	
生活支援員 北村 紀子	事務 熊井 愛斗	
勤続二十五年	看護師 高橋 和美	心理 佐藤ひとみ
看護師 北原 幸子	看護師 小椋 圭太	
生活支援員 三上 敬央	看護師 田中 佳	
生活支援員 岩永喜代美	生活支援員 植竹 崇	
勤続二十年	生活支援員 市川真理子	
歯科医師 萩原 麻美	生活支援員 笛木 聡美	
調理師 福丸 健治		
理学療法士 鈴木 みほ		
理学療法士 田口 崇史		
看護師 有我真由子		
看護師 西村 昭子		
看護師 田中 淑子		



勤続35年を 振り返って

リハビリテーション科長
伊藤 泰広

永年勤続35年にあたり表彰を
していただきありがとうございます
です。35年というとても長い月
日を、皆さんと一緒にこの鶴風
会で過ごせたことに感謝します。

はテイルト機構が重要で、当時
は毎回毎回、追加の書類を書い
て認めてもらっていました。そ
んな努力を重ねることで社会的
にテイルト型が徐々に認知され、
ほどなくして福祉の基準として
採用されました。

心身障害児者にとって、呼吸状
態を維持・改善させる重要な姿
勢の一つです。
それから相当の期間が経過し
た後で、様々な成人の呼吸器系
の疾患において、腹臥位姿勢の
重要性が言われ始めました。そ
して今、世界中を震撼させ続け
ている新型コロナウイルス、その
重症者は相当に厳しい肺炎とな
りますが、その治療で腹臥位が
実施されています。さらに中等
症の方々の重症化を防ぐ姿勢と
しても腹臥位が有効という研究
が最近になり出てきています。

就職したての頃を思い出すと、
あの頃に精力的に培ったことの
多くが、今という未来に繋がっ
ているなと感じるものがありま
す。例えば車椅子ですが、当時
の福祉制度にはリクライニン
グ型という基準はありませんた
が、テイルト型（背と座面の角
度は固定で椅子全体の角度が変
わる）という項目は存在しませ
んでした。リクライニング型は
車の座席のように背の角度が変
更できるのですが、重度のお子
さんの場合には背の角度のみを
変更すると姿勢の崩れが大きくな
ってしまつことがわかりまし
た。それを最小限にするために

分からなかったことが多かった
1990年頃、子どもたちの呼
吸状態を良くするためのポジ
ショニングとして、腹臥位姿勢
をテーマとしていくつもの研究
を先輩方と行いました。当時は
なければ作ればいいという雰囲気
が満ち溢れていて、手作りの
腹臥位保持具をたくさん作った
のをよく覚えています。研究に
使うサチュレーションモニタか
らデータを吸いだすソフトすら
自作しました。後半は研究費を
いただき、木製フレームでおそ
らくは日本で最初の腹臥位保持
装置を作り、その効果について
研究をしました。腹臥位は重症

いろいろな大変なことにも直
面しますが、その時に私たちが
動かす原動力は、「子どもたち
のために」良い仕事をしたとい
う強い思いです。鶴風会の職
員すべてに共通するこの思いを
糧に、今後も頑張っていきたい
と思います。

社会福祉法人 鶴風会 令和2年度 事業活動計算書

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
サービス活動収益計	4,215,171,316	4,390,293,189	-175,121,873
サービス活動費用計	4,294,955,387	4,261,825,128	33,130,259
サービス活動増減差額	-79,784,071	128,468,061	-208,252,132
サービス活動外増減の部			
サービス活動外収益計	31,098,593	32,481,119	-1,382,526
サービス活動外費用計	4,611,902	4,430,189	181,713
サービス活動外増減差額	26,486,691	28,050,930	-1,564,239
経常増減差額	-53,297,380	156,518,991	-209,816,371
特別増減の部			
特別収益計	36,113,777	18,509,636	17,604,141
特別費用計	39,668,438	27,397,552	12,270,886
特別増減差額	-3,554,661	-8,887,916	5,333,255
当期活動増減差額	-56,852,041	147,631,075	-204,483,116
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額	1,483,494,840	1,379,863,765	103,631,075
当期末繰越活動増減差額	1,426,642,799	1,527,494,840	-100,852,041
基本金取崩額	0	0	0
その他の積立金取崩額	50,000,000	106,000,000	-56,000,000
その他の積立金積立額	50,000,000	150,000,000	-100,000,000
次期繰越活動増減差額	1,426,642,799	1,483,494,840	-56,852,041

社会福祉法人鶴風会では、経営の透明性確保を
 するため、社会福祉法に基づき情報を公開して
 おります。

決算報告

社会福祉法人 鶴風会 令和2年度 資金収支計算書

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
事業活動収入計	4,262,524,000	4,246,269,909	16,254,091
事業活動支出計	4,135,610,000	4,078,759,998	56,850,002
事業活動資金収支差額	126,914,000	167,509,911	-40,595,911
施設整備等による収支			
施設整備等収入計	1,190,000	34,980,000	-33,790,000
施設整備等支出計	128,059,000	129,402,162	-1,343,162
施設整備等資金収支差額	-126,869,000	-94,422,162	-32,446,838
その他の活動による収支			
その他の活動収入計	81,063,000	81,104,777	-41,777
その他の活動支出計	101,108,000	101,073,185	34,815
その他の活動資金収支差額	-20,045,000	-19,968,408	-76,592
予備費支出	10,000,000	0	10,000,000
当期資金収支差額合計	-30,000,000	53,119,341	-83,119,341
前期末支払資金残高	1,571,220,000	1,571,220,938	-938
当期末支払資金残高	1,541,220,000	1,624,340,279	-83,120,279

社会福祉法人 鶴風会 令和2年度 貸借対照表

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,918,707,077	1,836,099,847	82,607,230
固定資産	4,537,399,403	4,663,348,189	-125,948,786
基本財産	2,533,511,577	2,643,904,338	-110,392,761
その他の固定資産	2,003,887,826	2,019,443,851	-15,556,025
資産の部合計	6,456,106,480	6,499,448,036	-43,341,556
負債の部			
流動負債	541,393,179	522,354,590	19,038,589
固定負債	1,394,702,821	1,376,094,853	18,607,968
負債の部合計	1,936,096,000	1,898,449,443	37,646,557
純資産の部			
基本金	1,705,794,456	1,705,794,456	0
国庫補助金等特別積立金	786,564,681	810,700,753	-24,136,072
その他の積立金	601,008,544	601,008,544	0
次期繰越活動増減差額	1,426,642,799	1,483,494,840	-56,852,041
(うち当期活動増減差額)	-56,852,041	147,631,075	-204,483,116

『オルフェの会』
開催中止について

毎年恒例となっております「オルフェの会」につきましては、令和3年12月5日(日曜日)に開催の予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていない状況に鑑みて、参加者・関係者の皆様の健康・安全面を第一に考慮いたしました結果、このたびは開催を見合わせることにいたしました。

楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。

ご理解のほど、何卒よろしくお願い致します。

社会福祉法人鶴風会後援会 事務局

『みどり祭り・バザー』の
開催中止について

毎年恒例となっております「みどり祭り・バザー」につきましては、令和3年10月24日(日曜日)に開催の予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていない状況に鑑みて、参加者・関係者の皆様の健康・安全面を第一に考慮いたしました結果、このたびは開催を見合わせることにいたしました。

楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。

ご理解のほど、何卒よろしくお願い致します。

社会福祉法人鶴風会後援会 事務局

社会福祉法人鶴風会へ

「寄附者」芳名

令和3年3月～令和3年6月
261名(五十音順・敬称略)

青木 継稔・青木方智子・青木 悦
青木 美澄・青木 千津・青山 幸生
秋山 尚美・浅井 浩司・浅川 恭行
浅田 栄一・浅田 栄・足高 毅
安達 久夫・足立 嘉子・安部 良治
阿部 正和・荒井 陽子・荒木眞佐子
新井 恒子・飯国紀一郎・飯国 弥生
飯国洋一郎・飯倉 憲子・井澤 正博
石井 正行・石原 学・石川 至
石川稚佳子・石塚 博子・石田 秀子
石田 哲朗・伊豆蔵英明・一林 繁
伊藤 圭子・伊藤 正俊・伊藤 文子
稲垣 登稔・井上 美俊・井村 和博
岩本 敦子・岩淵 聡・上田 建
上田 素子・白井 彰・瓜田 純久
海老根伊佐子・大川 貞治・大館 一彦
太田美つ子・大江 容子・大高 究
大場 幸延・大竹 喬二・大塚 周二
大島 剛・岡田 倫明・小川美佐江
奥秋 保・落合 泰明・小原 明
小原 桂子・影山 美子・鹿島田忠史
柏崎 操・梶山 祥子・加藤 茂
加藤 葉子・金森 勝士・金子 和夫
鎌田 直子・狩野 修・河村 康明
河村 裕子・関東 繁・鬼頭 秀明
木下 俊彦・久保 初美・久保 博
久保田伸枝・倉根 理一・黒瀬 嘉幸
月花 亮・小泉 美子・向山 秀樹

向山 徳子・幸田 文一・甲田 英一
高後 裕匡・小林 寅詰・後藤加寿美
齋藤 長則・齋藤 雅彦・齋藤 眞一
齋藤 学・齋藤 益子・齋藤 登
坂本 勉・酒井 謙・先山 隆司
櫻井 貞夫・佐々木裕美・佐多 由紀
佐藤 重雄・佐藤 信一・佐藤 信秀
佐藤 宣・佐藤 中・佐藤 麗子
塩野 久子・塩野 則次・志鳥眞理子
四宮 雅子・忍田 拓哉・柴 孝也
島田 長人・島野 光・嶋田 寛子
清水 一輝・清水 友理・白川 清吾
新谷 義克・杉山 尚子・杉山 卓哉
杉本 寛子・鈴木 美帆・鈴木 秀明
鈴木 信介・鈴木 達夫・鈴木 雅人
炭山 嘉伸・炭山 朋子・芹澤 滋幹
千 哲三・袖山 昌子・高月 誠
高木 利明・高橋比路美・高後 裕
高槻 義夫・高野 祐・高良 毅
武田 朋子・武居 正郎・多胡 博雄
館田 一博・田中 政信・田部 秀山
田村 恵子・塚原 洋子・月本 一郎
月本 伸子・辻 明良・辻本公美子
土屋 英子・堤 俊一郎・東條 賢一
苗村 みえ・中園 宏紀・中岡 義明
中西 隆・中村 豪・中村志津子
中村 豊・中谷 尚登・中島 桂子
中里恵美子・中里 良・中澤 一治
中山 禎子・永澤 康滋・長船 宏隆
長田 窓雄・並木 温・西井 華子
西宮 常代・西川 朋子・二宮 文乃
野上和加博・野口 隆敏・野田 文字
野中 杏栄・野中 博子・野村 直子

野村 正征・野本 一臣・萩原 泰
橋口 亮・橋口 玲子・長谷川和寿
早原 千鶴・早川 浩市・林 佳子
林 聖子・原田 孝・原田千鶴子
原田裕美子・樋口志津子・土方 淳
平田 徹・平野 盛久・平野 徹
蛭田 啓之・福井 卓也・藤井 昭夫
藤森 芳史・布施 正博・星 北斗
星出 陽子・星野 光雄・馬嶋 順子
牧 昭夫・牧野 紘美・松橋 京子
松原 龍弘・丸山希実子・丸山 征爾
三木 一正・水吉 秀男・水野久美子
水野 惇子・三登 和代・宮脇 浩紀
三宅 三・武者 喜朗・村川 公一
村川世津子・望月 陽子・守田 正三
守屋 栄・森 克彦・森 紘子
山下 育子・山口 美穂・山崎 公子
山村 憲・山田サチ子・山本 温子
山本 高裕・山崎 純一・山崎 大治
湯澤 俊・油原 亨・吉田 宏重
吉田 友英・渡辺 敦子
(株)イクセル・サービス
(有)清水商店
医療法人社団 嘉明会 横浜東邦病院
(株)銀座トマト
(有)クリーンワーク
(株)幸和義肢研究所
(株)東新商会
東京医療クリーン事業協同組合
(株)ベリユーサ
公益財団法人 星総合病院
(株)ヨシノブデザイン
通所保護者会
鶴風会後援会

社会福祉法人鶴風会へ

「寄贈品」芳名

令和3年3月～令和3年6月
5名(五十音順・敬称略)

マ ス ク 岡宮育世
手 袋 岡宮育世
お む つ 加藤信雄
採尿バツグ 武田利夫
絵 本 中村勝則
栄 養 剤 武田利夫
ネブライザー 加藤信雄
吸 引 器 加藤信雄
ストーマ装具類 武田利夫
浴室用担架 加藤信雄
タブレット端末 東京都看護協会



中村勝則様